

広島におけるMICEのあり方提言

平成30年12月21日

広島商工会議所
グローバルMICE検討特別委員会

はじめに

- ▶国際会議や学会、国際的なイベントが開催されると、国内外から多くの集客交流があり、MICEは一般的な観光旅行と比べ、来訪者の滞在時間が長く、消費額が大きいことから「高い経済効果」、「ビジネス機会やイノベーションの創出」や「都市の競争力・ブランド力の向上」も見込まれる。
- ▶こうした中、広島市では、平成27年に観光庁から「グローバルMICE都市」に選定され、国の支援などを通じて、更なるMICEの誘致・開催支援活動の充実・強化に取り組んでおり、広島商工会議所においても、行政、関係機関と一体となりこの取組みを更に推進するため、グローバルMICE検討特別委員会を中心に「広島におけるMICEのあり方」についてとりまとめを行った。

(目次)

広島に求められるMICEのあり方①②③	P3～P5
広島市内における施設整備候補地(公有地)	P6
提言	P7

広島に求められるMICEのあり方①

〔現状認識1〕

MICEの需要は伸びており、その振興は地域に大きな経済効果等が期待できるが、大規模な会議・展示会を中心に更なる振興に向けて、広島地域はハード・ソフトともにレベルアップしていく必要がある。

広島地域の会議・学会、展示会・イベント実施の現状・課題

(1) 会議・学会(C) 需要の動向と広島地域の課題

- ①国際会議、学会の国内開催は増加基調だが、大規模な会議・学会の広島での開催は低水準(資料編:P6・11・14~17)
→広島県の実績:国際会議(2016年)2,000人超規模は3件のみ、国内学会(2017年):62件で全国3,177件の1.9%[人口割合2.2%]
- ②2,000~3,000人収容規模の会議場や、展示場・中小会議室を併設した利便性の高い施設が地域になく、大規模な会議・学会の誘致が困難
[広島市文化交流会館:2,001人 広島国際会議場1,500人/福岡市:福岡国際会議場2,700人/札幌市:札幌コンベンションセンター-2,600人]

(2) 展示会・イベント(E) 需要の動向と広島地域の課題

- ①展示会需要は増加しているものの、大規模展示会は首都圏に集中。広島には大規模な展示場がなく、展示会開催は限定的
[広島産業会館 5,500㎡/北九州市:西日本総合展示場15,000㎡/岡山市:コンベックス岡山7,800㎡/東京:東京ビッグサイト116,000㎡(2019年拡張後)]
- ②5,000人超を収容できるイベントホールが地域になく、大規模イベントの誘致が困難
[広島グリーンアリーナ 3,500人/福岡市:マリンメッセ福岡 8,000人] ※1㎡当たり1人として収容人数を算出
- ③地域産業振興の重要性が増すなか、大規模な展示会・イベントを開催できる施設を整備し、国内外の関係者(バイヤー・消費者・技術者等)の交流を促す機能は重要。会場面積70,000㎡規模の大規模展示会の1回の開催で60億円超の経済効果が期待できる(資料編:P49)

広島に求められるMICEのあり方②

(資料編:P8~13)

〔現状認識2〕

広島市での国際会議の参加人数は、2016年では4万人強と、20万人弱の福岡市、9~10万人の神戸市・仙台市を大幅に下回る。特に大規模な国際会議・学会の誘致で遅れをとっており、大規模会議に対応できる体制強化によるMICE需要獲得の余地は大きい。

国際会議の参加人数の市町村ランキング (2016年)

順位	市町村名	参加人数(人)
1	横浜市	313,240
2	東京23区	296,766
3	京都市	202,786
4	福岡市	193,591
5	大阪市	130,577
6	神戸市	101,389
7	名古屋市	99,663
8	仙台市	92,141
9	札幌市	63,183
10	千葉市	46,196
11	北九州市	43,941
12	広島市	41,479
13	新潟市	21,737
14	奈良市	20,970
15	つくば市	17,359
16	鹿児島市	17,176
17	岡山市	15,514
18	金沢市	14,252
19	富山市	10,656
20	吹田市	10,388
21	静岡市	8,693
22	京田辺市	7,890
23	岐阜市	5,798
24	熊本市	5,763
25	長崎市	4,963
26	さいたま市	4,959
27	淡路市	3,780
28	豊中市	3,777
29	盛岡市	3,429
30	東広島市	3,145
103	廿日市市	120
116	呉市	50

増加余地大

1,000人以上の大型国際会議の開催実績 (2016年)

広島市

会議名	参加者総数
日本青年会議所全国大会	15,100
原水爆禁止2016世界大会	5,000
原水爆禁止広島大会	3,000
日本手外科学会学術集会	1,600
日本肩関節学会学術総会	1,530
日本マイクロサージャリー学会	1,004
合計6件	27,234

福岡市

会議名	参加者総数
ライオンズクラブ国際大会	37,386
日本静脈経腸栄養学会	12,000
日本建築学会大会(九州)	10,400
など合計31件	145,491

神戸市

会議名	参加者総数
日本消化器関連学会週間	22,616
日本神経学会学術大会	7,463
日本集中治療医学会学術集会	7,086
など合計15件	67,254

主な都市のMICE施設の規模

会議場

都市	施設名	規模
広島市	広島国際会議場	1,504 席
東京	東京国際フォーラム	5,012 席
横浜市	パシフィコ横浜	5,002 席
名古屋市	名古屋国際会議場	3,012 席
大阪市	グランキューブ大阪	2,754 席
福岡市	福岡国際会議場	2,700 m ²
札幌市	札幌コンベンションセンター	2,607 m ²
浜松市	アクトシティ浜松	2,336 席
熊本市	熊本城ホール	2,300 席
京都市	国立京都国際会館	2,240 席

展示場

都市	施設名	規模
広島市	県立広島産業会館	5,500 m ²
東京	東京ビッグサイト	95,420 m ²
千葉市	幕張メッセ	75,098 m ²
大阪市	インテックス大阪	70,078 m ²
常滑市	愛知県国際展示場	60,000 m ²
北九州市	西日本総合展示場	15,140 m ²
神戸市	神戸国際展示場	13,600 m ²
福岡市	マリンメッセ福岡	9,100 m ²
仙台市	夢メッセみやぎ	8,795 m ²
岡山市	コンベックス岡山	7,783 m ²

広島に求められるMICEのあり方③

広島地域におけるMICE振興のレベルアップを図るには、

①5,000人を超える規模の会議・学会・イベントに対応できる複合施設の整備

②大規模な展示会・イベントが開催できる展示施設の整備

③産学公の連携によるMICEの誘致・主催に向けた活動強化・体制拡充が求められる。

これらの対応により、来訪者拡大による経済効果(消費サービス面)や地域産業の振興効果が期待できる。

(1)ハード整備の方向性

①会議・学会・イベントの誘致拡大に向けた複合施設の整備

〔機能・規模〕ア 2,000～3,000人超収容可能な会議場と3,000～5,000㎡規模の展示場

イ 10,000㎡規模の多目的ホール

ア又はイを有し、中小会議室とあわせ、1施設で5,000人超規模の会議・学会・イベントに対応できる複合施設

〔場所〕交通アクセスが良好で、近隣に宿泊・飲食施設等が充実した立地

②大規模な展示会・イベントの誘致拡大に向けた施設の整備

〔機能・規模〕大規模展示会が開催できる100,000㎡超規模の展示ホール・中小会議室を有する展示施設

〔場所〕高いアクセス性を有し、近隣に宿泊・飲食施設等が充実した立地

※ただし、広大な用地(200,000㎡程度の敷地)の供給、施設の整備・運営スキームの確立が前提

(2)ソフト強化の方向性

①国際会議、学会、展示会・イベントの開催拡大に向け、(公財)広島観光コンベンションビューローの活動の強化及び共同事業実施などによる産学公の連携強化(*1)に取り組む

②大規模展示施設の整備にあたっては、展示会・イベントが主催できる推進・運営体制の構築(*2)に取り組む

*1: MICE参加者と地元企業との交流を促進するテクニカルビジット(地元企業訪問等)の開発・運用、MICE誘致につながるユニークベニュー(歴史的建造物、文化施設や公的空間等で、会議・レセプションを開催すること)の活用促進

*2: ドイツのハノーバー・フランクフルトの展示場運営団体は、1,000人超の従業員を有し、主催事業が売上の中心

MICEを起爆剤とした国内外からの集客増や経済効果の最大化、地域産業の振興に向けて、関係する行政機関と事業者が緊密に連携するとともに、MICE施設を中心としたまちづくりの全体像を検討し、具体化に向け取り組んでいくことが重要

広島市内における施設整備候補地（公有地）

- ・現時点で、市内で新たなMICE施設立地の候補と想定できる公有地は、①商工センター地区、②出島メセコン用地、③西飛行場跡地新たな産業（にぎわい）ゾーンの3カ所。このうち、②出島メセコン用地は、アクセス、周辺環境等を鑑みると、施設整備は難しいと考えられる。
- ・①商工センター地区は、宿泊機能・広島市中心部とのアクセス等の課題はあるが、JRの駅に近接し、瀬戸内海を望み宮島にも近い立地や、流通企業の集積など、施設立地のポテンシャルは高い。
- ・③西飛行場跡地新たな産業（にぎわい）ゾーンは、現状、利用計画はあるものの事業が確定していない。広島市中心部とのアクセス等に課題はあるが、観音地区はにぎわい・産業創出に向けた動きが進んでおり、近接する①商工センター地区と一体的なまちづくりが期待できるなど、立地環境が優れている。
- ・MICE関連施設が集積する広島市中心部は、現状、新たな大規模施設用地の確保は難しいものの、各施設の機能強化などが必要。



提 言

- ▶ MICEの振興は、地域への経済効果や産業・学術振興効果が大きいだけでなく、景気に左右されやすい観光産業の経営安定化にもつながることから、広島地域のMICE機能のレベルアップに向け、県・市・民間が連携し情報を共有しながら、会議・学会・展示会・イベント等の誘致拡大に向けたハード整備・ソフト強化に向け早急に取り組むべき。
- ▶ 地域の現状を踏まえると、現時点で一定の用地があり、周辺でにぎわい機能整備が進められている、「商工センター地区」において、MICE振興に向けたまちづくり開発(MICE施設の整備と平行した周辺環境充実・アクセス改善等)を進めるべき。また、観音地区も含めた「広島市西部湾岸地域」において、経済効果・イノベーション創出効果が大きい大規模な展示会・イベント等を誘致できる機能整備に向け、総合的なまちづくり(周辺と広島市中心部を結ぶ軌道系交通機関整備など)を進めるべき。
- ▶ なお、「広島市西部湾岸地域」の整備進展と連動する形で、既存のMICE関連施設が集積する広島市中心部でも各施設の機能強化・連携強化に継続的に取り組み、ソフト面も含めた地域全体のMICE機能のレベルアップを図っていくべき。

(1)ハード整備の方向性

①会議・学会・イベントの誘致拡大に向けた複合施設整備(商工センター地区)

- ア 2,000~3,000人超収容可能な会議場と3,000~5,000㎡規模の展示場
- イ 10,000㎡規模の多目的ホール(分割可能構造・可動席システムなど主催者ニーズにフレキシブルに対応できる機能)
ア又はイを有し、中小会議室とあわせ1施設で5,000人超規模の会議・学会・イベントに対応できる複合施設

②大規模な展示会・イベントの誘致拡大に向けた施設の整備(広島市西部湾岸地域[観音地区・商工センター地区])

- 国内外をターゲットとした大規模展示会(展示面積100,000㎡規模超)・イベントが開催できる国際水準の展示施設の整備
⇒用地確保、施設の整備・運営スキーム確立が前提

③広島市中心部のMICE関連施設の機能強化・連携強化など

- イベント等開催機能、神楽など広島の観光・文化情報発信機能の強化に向けたオープンスペースの整備や各施設をつなぐ動線の整備等

(2)ソフト強化の方向性

①MICE振興の強化に向け、(公財)広島観光コンベンションビューローの活動の強化及び共同事業実施などによる産学公の連携強化

②大規模展示施設の整備にあたっては、大規模な展示会・イベントが主催できる推進・運営体制の構築を、外資系専門機関の活用等を含め検討

広島地域として、MICEを起爆剤とした国内外からの集客増や経済効果の最大化、地域産業の振興に向けて、関係機関が緊密に連携しつつ、MICE施設を中心としたまちづくりの検討・具体化を図る。